

- 一国が1年間に排出・吸収する温室効果ガスの量を取りまとめたデータは、国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局に毎年提出が義務付けられている。
※ブルーカーボン生態系に関する吸収量は任意。
- 2022年度の我が国の温室効果ガス排出・吸収量においては、ブルーカーボン生態系のうち、新たに海草(うみくさ)藻場・海藻(かいそう)藻場による吸収量を合計約35万 t-CO₂/年と算定し、UNFCCC事務局に報告した(海藻藻場による吸収量の報告は世界初)。

マングローブ



出典：NPO法人マングローバル

藻場(海草・海藻)



干潟



2021年度の温室効果ガス
排出・吸収量から報告を開始

2022年度の温室効果ガス
排出・吸収量において報告

今後、温室効果ガス排出・
吸収量の算定を目指し検討